

## 第 179 回 山行記 御殿山～大日山縦走(標高 364m・千葉県南房総市)

2024 年 1 月 22 日



御殿山は、千葉県立嶺岡山系自然公園の中にある、奥深い山域にある山です。山名の由来は日本武尊が東征して安房地方を平定したときに、この地を根城としたからと伝えられています。

山頂からは富山や伊予ヶ岳など房総の山々や海が美しく、晴れた日には遠く富士山を望めます。今回は御殿山から南へ尾根筋を進み、鷹取山(350m)、宝篋印塔山(ほうきょういんとうさん 331m)を経て、大日如来像の祀られた大日山(だいにちやま 333m)まで、房総低名山(ぼうそうひくめいざん)と呼ばれる四座を縦走しました。参加者は、21名(男性14名、女性7名)でした。担当班は3班です。

前日の午前中にかかなりの雨が降りましたが、当日は打って変わって穏やかに晴れ上がりました。気温もさほど低くなく、上りが続くと汗ばみました。山楽会には晴れ男・女がいるようです。

### バス往路

5:30 大久保公民館前 JR津田沼駅前などを回って、幕張IC(6:00)～京葉道路・館山自動車道～君津PA～鋸南富山IC～御殿山駐車場(7:30)

道路が空いていたこともあって予定より20分ほど早く到着しました。

いつも通りSさんの指導で準備体操を念入りに行った後、登山を開始しました。先頭はMSさん、しんがり MYさんです。

## 7:50 御殿山駐車場出発



里山の花々



人家がまばらにある里山風景の中、ゆるやかな舗装道路を歩きます。周りには、紅梅、白梅、黄色の梅（蠟梅）、桜のようなもの、水仙などが咲きそろっていて、春の気配さえ感じます。舗装道路が終わってゆるやかな山道を登って行きます。



大黒様からの眺望

## 8:20 大黒様到着

見晴らし台があって正面に伊予が岳が見渡せます。江戸時代中頃のものとする大黒様が祀られています。

御殿山頂上目前にかなりの高さの急登がありました。勾配がきつく、こうようにして登りました。



御殿山頂上目前の急登

## 8:50 御殿山登頂

パノラマ展望図や東屋(あずまや)があり、鋸山、富山、伊予が岳など房総の山々から東京湾、三浦半島、晴れていれば富士山を見渡すことができますが、この日は霞んでいて富士山は見る事が出来ませんでした。



御殿山頂上からの眺望

鷹取山に向かう山道には木製の急な階段の上り下りがあります。木製の階段の踏み面(ふみづら)が雨風でえぐれていて歩きづらいです。右側が何十メートルもある崖の尾根道が続きます。前日の雨でぬかるんでいるところがあって危険を感じました。山道の周辺にはツバキが群生していて 2, 3 月には赤い花が咲くとのことでした。

### 9:30 鷹取山登頂

木に囲まれていて見晴らしはあまりよくないです。  
木製の急な階段を下ります。

### 10:25 宝篋印塔山登頂

引き続き尾根筋を進んでいくと、木に囲まれた石碑が現れます。やはり、見晴らしはあまりよくないです。

### 10:40 大日山登頂

山頂は眺望が開けています。富山、鋸山、晴れていれば富士山も見られます。右側に東京湾、その向こうに三浦半島、左側には館山湾が望めました。大日如来石像が祀られています。



木製の急な階段を上り下り



大日山頂上からの眺望

大日山登山口までは下りの急坂が続きます。今までのアップダウンで疲れた膝には負担がかかります。

## 12:15 大日山登山口 ～ 12:20 大日山遊歩道駐車場到着

人家がまばらにある里山風景の中を歩き、バスの待つ駐車場に向かいました。周りには梅、水仙などが咲いています。



梅や水仙が咲いています



「ばんや」での新年会

合計時間 4時間30分 休憩1時間20分 距離 7.9km 上り 498m 下り 515m でした。

(ヤママップより)

Sさんの指導でクールダウンを行った後、「ばんや」に向かいました。

## 13:00～14:30 新年会 「ばんや」

新年会を「ばんや」で行いました。漁協直営食堂で、房総沖で獲れた新鮮な魚の幸が自慢の店です。さしみは新鮮で美味しかったです。あさり御飯やくじらの焼いたものなどもありました。ただ、一般客と席が一緒でしたので、新年会らしい盛り上がりがいまいちでしたが、ビールなどを飲みながら、ゆっくりと親睦を図ることができました。

## 14:35～15:05 道の駅保田小学校

道の駅保田小学校に立ち寄りました。ここは、過疎化で廃校になった“鋸南町保田小学校”を改装して建てられた、ユニークな道の駅です。宿泊施設もあります。おみやげを買ったり、アイスクリームなどを食べました。

## バス復路

道の駅保田小学校(15:05)～鋸南保田IC～幕張IC(16:20) 予定より約30分早く帰着しました。

山道は全体的に観光地のようによく整備されています。ハイキングコースや初級コースと言われていますが、急で長い木製の階段によるアップダウンが多く、前日の雨でぬかるんでいるところもあって、私にはかなりきつく感じられました。それでも、事故もなく、天候も良く、低山とはいえ見晴らしも良く、歩きごたえもある楽しい山行となりました。

(S・M 記)